

滋賀県 消費生活フェスタ 2017

9月18日(月)彦根市で開催されました「滋賀県 消費生活フェスタ 2017」に、滋賀県循環社会推進課の受託事業の一環として「食品ロス削減」取り組みについて出展し、協会から2名参加しました。

当日は台風18号の通過や余波が懸念されましたが、台風一過、青空も広がり無事開催することができました。

- ◆開催日時 : 平成29年9月18日(月・祝日) 13:30~15:35
- ◆開催場所 : ビバシティ彦根 センタープラザ

開会は昼からでしたが、開会挨拶前にステージ上で滋賀県の「食品ロス削減」の主旨と取り組み内容についてパネルを用いながらステージ前に集まっていた県民の皆様へ、家庭でもできる取り組みについてその内容と啓発につとめました。

その後、ステージ上で各催しやイベントが行われる前の広場で、家族づれで買い物や食事であられた県民の皆様へ「食品ロス削減」取り組みのチラシとゴミに関する総合情報サイト「ごみゼロしが」のチラシを配って啓発と普及につとめました。

▽ ▽当日のフェスタ風景 と 展示パネル 4枚 ▽ ▽



“食品ロス”の大きな要因は、「食べ残し」・「手付かず」・「過剰除去」です。

<p>「食べ残し」</p> <p>お家では… さっきお菓子食べたばかり! もう食べられないわ。 給食では… これ好きじゃないよ~! レストランでは… 注文しすぎちゃった。もうお腹いっぱい!</p>	<p>「手付かず食品」</p> <p>あら、このチョコ捨てられないわね。昨日までだわ。 賞味期限: おいしく食べられる期間 消費期限: 安全に食べられる期間</p>	<p>「過剰除去」</p> <p>にんじんの皮が残ってたらいやだから厚めに剥いてやろう。</p>
---	---	---

食品ロス削減のイメージとして、ゴミ箱に「食べ残し」「手付かず」「過剰除去」のゴミが投入されている様子も描かれています。

「食品ロス」の量はどれくらいあると思いますか?

日本全体で年間約**621万トン**発生しています。
○なんと国民全員が、毎日、お茶碗一杯分(約134g)を捨てている計算です。

621万トンの食品ロス

○621万トンの半分は、食品をつくる会社や、レストラン、スーパーから発生しています。

○そして**残りの半分は、家庭から発生しています。**

○そこで**皆さんへのお願い!!** 食品ロスをはじめとする「ごみ」を減らすために食べ残しをなくすなどの行動を始めてみませんか!!

さあ! みんなで「食品ロス」を減らしましょう!!

食品ロスを減らす3つの行動

食事	買い物	調理
<p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作りすぎない ・好き嫌いしない <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文しすぎない <p>外食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3010運動 ・宴会開始30分は料理を楽しむ ・終了前10分には席に戻り料理を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に冷蔵庫の中をチェック ・すぐ使う食品は、消費期限(賞味期限)が近いものの購入を検討 ・買い過ぎた食品は適切に保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物の皮は厚むきしない ・野菜の皮も食材として利用 ・使い残しによる廃棄に注意する

食品ロスを減らす行動はどんなことにつながるのでしょうか

日本を含め世界中で**フードバンク活動**が行われています。

フードバンクとは...
食品会社や農家、または家庭で余った食品を食料に困っている家庭や施設に提供すること

困っている人の手助けにもなるんだね!

食品ロスを減らして...

三方よし

- 環境よし
- 買い手よし
- 売り手よし

○燃やすごみの量が減り、CO2削減
○ごみ処理の費用を節約